

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	量子素過程科学第二		
英文授業科目名	Atomic Processes 2		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	大谷 俊介		
居室	西7-707		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ohtani@ils.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
例年量子科学の分野のトピックスをとり上げ紹介している。昨年は「多価イオン」の関与する素過程を選び、基礎から応用までを幅広く紹介した。今年も同様の内容とする予定である。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特になし。参考文献は随時配付する。

【授業内容とその進め方】
関連する論文などをプリントにして配布。授業は主にOHPを用いて行う。

【成績評価方法および評価基準】
講義の途中と最終日にレポートを提出してもらい、それに基づき評価点を決める。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】
随時

【学生へのメッセージ】
現在多方面で新しい展開をはじめている原子物理学の研究に注目してもらいたい。そして基礎科学の重要性を理解してもらいたい。